

抗菌薬使用中の高齢者における医療用医薬品整腸剤のクロストリジウム・ディフィシル感染症発症予防効果に関する研究に関する患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター総合内科では、「抗菌薬使用中の高齢者における医療用医薬品整腸剤のクロストリジウム・ディフィシル感染症(CDI)発症予防効果の研究」に参加することになりました。

この研究の目的は、抗菌薬の使用中に起こる CDI に対して整腸剤の使用がどの程度発症予防に寄与しているのかを明らかにすることです。

この研究のため、2014年4月より2017年3月31日までに救急外来から緊急入院し抗菌薬を使用した患者さんの調査を行います。調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（血液検査の結果、合併症の有無、治療経過など）のみです。患者さんのお名前や住所などのプライバシーに関する情報が、外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

本研究は、北里大学と東京医療センターの共同研究です。調査したデータは本研究の代表であります北里大学大村智研究所にて管理されます。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

また、ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2022年 6月

東京医療センター 総合内科・感染症内科

研究責任者 森伸晃

連絡先 03-3411-0111（代表）